

町長室から

今年の

台風も迷走の様相を強めています。

台風5号はそもそも進路が定まらなく、いつの間にか日本列島に上陸してしまっただという感じですが、速度がゆっくりに、発生してから温帯低気圧になるまでの日数が長く各地に大雨の被害をもたらしました。

北海道には温帯低気圧になつてから到達し、大きな雨雲も日高山脈を越えることはなく過ぎ去ったことは幸でした。

今月は6日に広島市、9日に長崎市に原爆が投下され、何万人と言う市民が犠牲になつてから72年の歳月が流れ、原爆被災者の慰霊と世界平和を祈念する式典が行われました。

核兵器使用については北朝鮮が「ICBMに搭載可能な核の開発に成功し、アメリカ本土を射程に収めた」と宣言すると同時に、「日本列島」ときは一瞬にして焦土化できる能力を持っている」と挑発し、アメリカ大統領も「北朝鮮がこれ以上アメリカを脅かせば世界がこれまで目にしたことの無い炎と怒りに直面することになる」とけん制するなど一触即発の様相を示しています。子ども達の喧嘩ではありません。間違えると一瞬にして大きな犠牲

者がでる事態になりかねません。

株式市場などは一段と下げ幅を広げるなど世界中が固唾を呑んで注目しており、挙げたこぶしを下げる方法を何とか世界の智恵で探してもらいたいものです。

上浦幌地区児童クラブ(学童保育)を試験的に開設しました。地区からの要請がこれまでもありましたが、指導員さんの確保が出来ずに開設を見送っていました。が、何とか引き受けてくれる人がありましたことから開設にこぎつけたものです。働くお母さんたちのお役に立ち、利用が進んでくれるようにしたいと思います。

昨年は浦幌町から小・中学生が洋野町を訪問して歓迎を受けましたが、今年は洋野町から初めて中学生と小学生たち18名を向かえて、子どもとの交流事業を教育委員会主催で行いました。

浦幌町の小中学生たちも出席して歓迎会を行い交流の輪を広げるとともに、次の日からはパークゴルフをしたり、日立建機の工場を見学したり、豊北原生花園などを見学したりと3日間のスケジュールで浦幌町の見学をして知見を高めました。これからの年度ごとに相互の交流をして理解を広げていくこととなります。

JR北海道ではご当地駅の入

場券を発売しています。浦幌駅でも浦幌町の図柄をあしらった入場券を発売していますが、道内のご当地入場券を10枚集まれば特典がつくイベントです。

JR北海道は赤字路線廃止問題などで揺れています。これは利益を追求するイベントではなく各地の駅の宣伝の一環です。で2000枚の限定販売で、売れ切れたら終了で浦幌駅でしか購入は出来ません。

セブンスイレブンジヤパンさんと「地域見守り活動に関する協定書」及び「災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定書」を締結しました。高齢者社会の中では助け合い、補助しあうことの大切さを痛感するところですが、24時間営業の店舗で万が一お年寄りの方が助けを必要としているときや、配達の際に異変を感じたときに役場に知らせていただくための協定であるとともに、夜などに子供達や女性が危険と感じた時に駆け込む場所として機能していただく協定です。

また、最近では異常気象とも言われて各地で地震や大雨の自然災害が発生しており、避難警報や避難指示などで避難場所に逃げた際には、役場も非常食を用意はし

ていますが、不足したときなどに商品を提供していただく協定です。セブンスイレブンジヤパンでは道内に16工場があり、現場の店舗に商品がなくなっても被災地の工場が機能しなくなっても近隣の工場から緊急輸送する体制を整えているので、安心してくださいと言っていたかったです。

また、住民の生活安定のために災害にあった店舗の営業の継続と早期営業の再開を要請できる協定でもあります。

これだけ騒がれても振り込め詐欺の被害者が相次いでいます。が、隣町でもお年寄りが多額の被害に会うという事件が最近発生しました。自分だけはだまされないと思っている、相手は巧妙に仕掛けてきます。

不審の電話があった場合は警察に相談する、民生委員さんやご近所さんにも相談するなど一呼吸吸けばだまされているということに気がつくかもしれません。何事も用心が肝要です。

浦幌町長 水澤一廣